

令和7年度 学校評価アンケートから

1. 明るい学校生活

昨年同様、生徒・保護者・教職員全体が高い評価をしてくださいました。学校の明るい雰囲気や学習環境を築き上げるうえで最も大切であることを考えますと、否定的に感じている生徒・保護者がいなくなる学校をめざし、さらに努力していきたいと考えます。

2. きめ細やかで手厚い指導

指導に当たる教職員は、一生懸命にきめ細やかで手厚い指導を心がけていますが、保護者や生徒にその姿が伝わらず、多少のすれを感じます。評価評定に関わる課題やカリキュラムの改善など、現在取り組んでいる本校の教育活動を見直し、研修し改善を推進していきたいと考えます。

3. 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

魅力ある授業を生み出すのは教員の使命ですが、残念ながら教職員の意識の低さに問題を感じています。時代の流れで教育内容や授業の方法が大きく変化し、ICT教育が進み、環境は他校に負けぬよう整備がされました。学力向上のための方策も、いくつも用意され、生徒の進路希望に合わせ対応できるようセットされています。それをいかに生徒に浸透させ、活用していくかが今後の課題です。魅力ある授業づくりのため、教職員が研修を深め、生徒の意欲を高めていけるよう努力したいと考えます。

4. 挨拶・身嗜み・言葉づかいの指導

理想的人間関係を築き上げる上で大切なのは、コミュニケーションであり教職員が一人ひとりの生徒に対する生徒理解が基本となることです。挨拶・身嗜み・言葉づかいは学校教育だけでは身につけません。家庭教育が担うことがとても大きなところでもあると考えます。批判や放任に終わらせることなく、学校と保護が共有して取り組む課題であることをお互いに再認識したいと思います。

5. 学校からの情報発信

特に今年度は学校の動きや生徒の活躍を SNS を使った情報発信に努め、多くの人たちから好評を得ることが出来ました。「せせらぎ」(校長室から)・学級通信・学年通信・「かけはし」(PTA たより)、ホームページ、さらにはクラッシー等において情報発信をしてきました。紙媒体との併用も考えながら無理なく、しかも必要な情報発信に努めていきたいと考えます。

6. 進路意識の向上

まだまだ向上させることが求められていることが数字的には読み取ることが出来ます、年間計画で示されているように、学年に応じた進路別ガイダンスが実施され、成果の表れでもあります。総合的探究の時間の充実、大学や専門学校との連携、キャリア教育の推進を通じてさらに高め、個々が求める進路の実現に向けた意識向上に努めていくことが大切であると考えます。

7. 幅広い進路希望の実現

進学・就職に合わせた幅広い情報提供や資料提供、さらには体験的学習(キャリア教育)を含んだ内容が求められ、対応している姿が見えるものになってきていることの評価であると理解しています。北高アカデミーによる講習や夜間講習, チューターの活用により実績も向上してきています。英検・漢検・数検をはじめとして多くの受験機会を提供し、それなりの実績も生まれてきています。今後も学習の機会・環境の充実に努めていきたいと考えます。

8. 豊かなクラブ・生徒会活動の充実

世界大会に出場したレスリング部・全国大会に出場した吹奏楽部・ブレイクダンス部・チアダンス部等々の活躍を高く評価されているものと受け止めます。本校ならではの活動を継続し、大切にしていくことが、生徒にとって魅力あるものになっていることを実感します。豊かなクラブ・生徒会活動を通して得る力を、学校生活の原動力として大切にしなければならないと考えます。私学だからできる選択を生徒に与え、より充実した活動を築き上げることを目指さなければならないと考えます。

9. 心のつながり、共感的指導

いつも教職員に訴えていることは、生徒指導で一番大切なことは「生徒理解」であり「共感的指導」もそこから生まれるものとの考えです。個々の生徒にふさわしい距離感で人間関係を築き、自主性・自律性を大切に指導に当たることが大切です。教職員としての在り方を高めていくためにも研鑽し、危機感をもって指導に当たらなければならないと考えます。生徒を取り巻く環境が大きく変化する中での人間関係の構築に努力していききたいと考えます。

10. 施設整備の充実

管内の高校では一番初めに、全クラスにクーラーを設置・LANの整備・電子黒板の導入等々、時代に即した学習環境に力をいれ努力した結果、生徒・保護者からの評価は高くなっています。しかしながら教職員からは、まだまだ整備しなければならないところも要求されていますので、さらなる施設整備に努力しなければならないと考えます。

帯広北高等学校 学校関係者 評価委員会による評価報告

令和8年2月12日(木) 18:00~

帯広北高等学校 会議室にて

校長・副校長・教頭 同席

1. 学校運営に関する評価について

私学としての運営を、現状分析から課題を見出し、解決方法・方策を早急に洗い出し、前向きに改善するよう、全教職員で共通認識するように求められた。

日本航空大学校や吉田学園との連携による生徒の意識変化や学習成果、各種専門学校との連携強化・キャリア教育での地域との結びつきなど、取り組みに対する評価を得た。

クラブ活動やボランティア活動・小学校との連携などマスコミに取り上げられることが多くなったことで様々な取り組みが見えた年度であった。それらから生まれる多くの成果を期待したい。

生徒・保護者・地域住民・小学校・中学校等からの意見・要望を大切に受け入れながら、夢のある・活みなぎる学校運営に努めて欲しい。

2. 学習指導に関する評価について

各種多様な取り組み(アドバンスコース・朝読書や朝学習・北高アカデミー・チューター活用)が取り組みの成果として表れていることを評価する。さらなるきめ細かさのある指導を期待する。

本校のように、幅広い学力層の生徒の実態を考え、特進コース・アドバンスコース・スタンダードコースという体制で習熟度別クラス編成を行っていて、個々に合った学習展開が行われていることを評価する。

教職員の研修の充実を図り ICT・AI を活用した授業の展開をする中で、さらに魅力ある授業が展開されることを期待する。

3. 生徒指導に関する評価について

生徒指導に関しては、学校・生徒・保護者の連携を密に家庭での指導が重要と考える。親指導が鍵となるように思うので、困難な状況もあるとは思いますが、是非連携を強化し、周りから評判の良い学校を目指して欲しい。

挨拶・身嗜み・言葉遣い等は高校生らしさを感じさせるよう向上してきていると感じるが、一部の生徒にはさらなる指導の徹底を期待したい。

近年の生徒指導事案を聞くと、高校だけではなく、小・中においても同様で、SNS等スマホやインターネットが必ずと言ってよいほど絡んでいると言う。この件にも十分な指導を継続してほしい。

4. 進路指導に関する評価について

学校として、進路指導に対する努力の成果を評価されてきていることもあり、とても良い方向で推進されていると思う。

進路意識を高める活動も以前より活発に行われ、丁寧な指導が行われていることを高く評価する。

進路ガイダンスや各種講習をより多く活用し、生徒のみならず保護者の理解を高めていく努力を期待したい。

5. 特別活動に関する評価について

ここ数年の感染症流行により停滞していた活動が再開され、本来の高校生活を実感出来るようになってきたことを嬉しく思う。

高校生活でも極めて大きなウエイトを占める活動が復活し、高い評価に値すると思われる。今後さらなる活動の活発化を期待する。

教職員が一致団結して生徒の情熱をしっかり受け止め、さらに良い方向に導くことを期待する。

6. その他

北高が前進するため、現在の課題を明確にし、発展させるための手立てを考え、より活気ある学校を目指して欲しい。

「愛」と「夢」と「感動」あふれる学校をめざし頑張ってくれることを期待する。

帯広北高等学校 学校評価 第三者評価委員会による評価報告

令和8年2月20日（金） 18:00～

帯広北高等学校 会議室にて

校長・副校長・教頭 同席

学校における生徒・保護者・教職員による評価アンケート結果、並びに学校評価委員による評価報告を受けて実施する会議であることを前提に、多くの角度からご意見をいただき事について簡潔にまとめてみました。

学校運営に関する評価について

学校長の示したグランドデザインを理解し、よりよい学校をめざし、協力体制を堅持し、活性化した学校運営を推進してほしい。

北高独自に、大学・専門学校との連携事業をはじめとする多くの試みを高く評価したい。今後も魅力ある運営に努めてほしい。

小・中との連携で「魅力ある北高」を多くのツールを使い自信を持って発信・連携してくれることの深化を期待する。

2. 学習指導に関する評価について

多くの方策を工夫して、創意的な工夫をしてくれていることに敬意を表すると同時にその取り組みが地域に反映していることを感じさせます。

時代に沿って学びのスタイルが変化し、ICT教育にも積極的に取り組んでいることに対し高く評価し・専門学校や・小中学をとの協力・努力を惜しまないでほしい。

3. 生徒指導に関する評価について

SNSをはじめとするスマホを通じた生徒の問題行動に結びつく課題を解決していく方策を早急に整備し教育活動に結びつけることを期待する。

近年の地域情勢を見るにつれ、極めて大変な領域であることを感じる。小・中さらには専門学校においても同様の課題があり、課題解決に向け教職員が共通課題として取り組みを深めていきたいと思う。そのための情報交換を大切にしていきたいものと考えている。

4. 進路指導に関する評価について

進路ガイダンス等多くの機会を与え、取り組みをしていることを評価する、そのことを保護者や次代を担う中学生にも理解してもらい、より丁寧な対応を工夫し、さらなる成果が得られるよう期待する。

5. 特別活動に関する評価について

多方面での生徒の活動が見えている。是非とも地域に生かされる生徒の活躍・活動が多くの人々に見えるようになれば、「魅力ある学校」のアピールになり今後の北高の姿が明るく、見えるものとなると感じる。このことをぜひ大切にしてほしい。そのことを地域の小・中学校でも披露する機会を考えていきましょう。

6. その他

学校の施設整備については、金銭的なことが大いに関わることであり、理事会での、理解を得ながら、教職員の満足を高めることが必要と考える。ただし、生徒・保護者からの評価が高められてきていることは、学校としての努力の賜物であり、今後の学校運営に生かしていくことを期待する。